

現代経済の課題A II

科目ナンバリング ECP-304
選択 2単位

石川 義孝

1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、日本で少子高齢化の進展や人口減少社会への移行が見られる中、社会・経済に大きな影響を与える人口の動向について学んでいきます。授業は、これに関係するいろいろな概念の解説をおこなうとともに、人口分析のための方法やデータについても解説します。

春期には、人口に関する基礎的な理論や方法を学びながら、日本を対象に、出生・死亡・移動という人口変化の3大イベントを中心に、これに関係するいくつかのテーマについて、地域人口という観点から、概観します。秋期には、春期の内容を受けて、人口減少時代を迎えた日本にとって特に重要な存在である在留外国人について、解説します。これは、外国人が、減少しつつある日本人を補完し日本社会への貢献を期待する、という意義を持っているからです。

2. 授業の到達目標

- ①外国人人口が日本の社会・経済に及ぼす影響について、説明できる。
- ②在留外国人の推移と今後について、実証的なデータを基に理解する力を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

授業で何回か提出してもらう、授業の内容の理解を確認するための小テスト(数回、不定期)の解答状況が50%、期末の試験が50%、の割合で評価します。小テストは、「2.授業の到達目標」に関連する各回の内容について、問います。

4. 教科書・参考文献

教科書

毛受敏浩 『移民が導く日本の未来: ポストコロナと人口激減時代の処方箋』

(明石書店)

参考文献

石川義孝編 『地図でみる日本の外国人 改訂版』 (ナカニシヤ出版)

5. 準備学修の内容

毎回の授業内容を復習しておくとともに、次回の授業内容を予習して、授業に臨んで下さい。人口減少や在留外国人は、現代の日本を読み解くキーワードであり、マスメディアにこうしたテーマに関連する報道が出ない日はありません。授業ではこうした報道も適宜紹介しますので、受講生のみなさんも、準備学修のさいご留意願います。

6. その他履修上の注意事項

予備知識は特に必要としません。春期と秋期の授業を連続で受講していただくのが、望ましいです。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-------------------|
| 【第1回】 | <講義>講義の進め方 |
| 【第2回】 | <講義>コロナショック |
| 【第3回】 | <講義>課題解決策としての外国人 |
| 【第4回】 | <講義>日本語の壁 |
| 【第5回】 | <講義>外国人が直面する壁 |
| 【第6回】 | <講義>新たな政策への方向転換 |
| 【第7回】 | <講義>技能実習制度 |
| 【第8回】 | <講義>特定技能制度 |
| 【第9回】 | <講義>在留外国人等基本法の重要性 |
| 【第10回】 | <講義>30年間の政策空白 |
| 【第11回】 | <講義>受け入れの費用対効果 |
| 【第12回】 | <講義>地域に定着した外国人 |
| 【第13回】 | <オンライン>未来予想 |
| 【第14回】 | <講義>外国人受け入れ |
| 【第15回】 | <講義>秋期の総括 |
| | <試験> |